

たむら市民ネット・石井恵三さんインタビュー 放射能汚染を生き抜く



石井恵三さん(右)と、たむら市民ネット代表の鈴木さん(左)

愛農会員の石井恵三さんは、福島県田村市で養鶏と野菜栽培を行う有機農家でした。3・11後、ご家族で愛農に一時避難し、新天地など模索しながら数ヶ月間の避難生活を送っておられましたが、最終的には田村市に戻り、現在は放射能の測定や保養活動、放射能汚染に関する情報発信などを行う市民測定所「たむら市民放射能測定所（通称＝たむら市民ネット）」に勤めておられます。原発事故から2年、現在の福島状況をお聞きました。（聞き手 坪井）

測定を続ける中で
見えてきたこと

*** **

——たむら市民ネットについて教えてください。

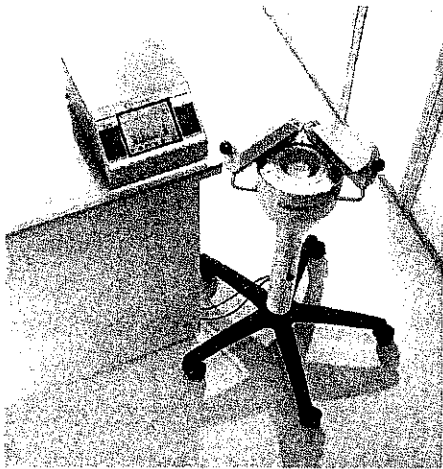
もともと田村市で介護事業をやっている友人がいたんですが、震災のときにほとんどの職員と利用者が市外・県外に避難をし、一時閉鎖されていたんです。しかしそうした人たちも田村市に戻ってきて生活をするということになりました。介護事業を再開することになりました。こちらで生活することになれば被曝ということも考えなければいけません。しか

しそれまでの国や行政の対応を見る限りでは、公表されているデータや情報を鵜呑みにすることもできない。そこで自分たちで実際の放射能を測定しようということになり、測定器を購入するための寄付集めを始めたんです。そんな中で友人から、もしやれるなら測定員をやってくれないかという話を持ちかけられ、その時は仕事をしていなかったもので、じゃあやろうかということ、昨年二月のオープン時から測定を行っています。これまでに福島県中通りを中心に、土壌や水・農産物・雑草や木の実・堆肥など、多品目の放射能測定を、出来る限り時間をかけて行ってきました。

——測定データの一覧を見せていただくと、水（井戸水・ひき水・沢水・水道水）・米・野菜はすべてND（検出限界値以下）となってますね。意外と出ていないんだな、という印象を受けたんですが。その一方で、土壌は軒並み高い数値を示していますね（※注1）。

私たちが知りたいのは汚染の実態

測定器はドイツ製のTb2045を使用。



です。ここで測定している土壌は、学校や幼稚園の近くとか、道の駅だとかから取ってきたもので畑の土ではないんです。畑では耕すと放射性物質が土の中に深く入ってしまい濃度も拡散されますし、作物によって出るものもありますがほとんど出ていないのが現状です。しかし山菜やキノコは高い値が出ています。果樹も検出されるものが多いですね。それから土質にもよります。汚染の比較的高い地域でも、粘土質の土壌だと粘土がセシウムを吸着して離さない性質があり、そうしたことから作物や野菜に移行しない傾向がある

んです。もう一つには私たちが測定するのは田村市のものがほとんどで、田村市は福島市や郡山市、二本松などに比べると、汚染の度合いが少くないということもあると思います。一つ付け加えると、肥培管理、例えばカリ肥料を上手に使えばセシウムの吸収を極力抑えることも可能ですし、EM菌で作物への移行が軽減されたという話も聞きます。ですので農業を続けておられる方は、そういう出来限りの工夫をして、測定を繰り返しながら、安全なものを生産する努力を続けておられるのだと思います。

——測定所がオープンするときのチラシを見せていただくと、検出限界一〇ベクレル/kgとありますが、この値についてはどのようにお考えですか？

実はそれはオープン時の値でして、現在は測定時間を長く取って精度を上げ、検出限界値を五ベクレルくらいまで下げているんです。

——食品に含まれる放射能の値につ

いて、石井さんがお子さんに食べさせるようになったとき、どのくらいなら許容範囲だとお考えですか？

ドイツの基準がありますよね。子供が四ベクレル/kgで大人が八ベクレル/kgという。それに近いところで判断したいなと思っています。

(現在の日本の基準では、一般食品
Ⅱ一〇〇ベクレル/kg 乳幼児食品
Ⅱ五〇ベクレル/kg 牛乳Ⅱ五〇ベクレル/kg 飲料水Ⅱ一〇ベクレル/kg)

——以前から疑問だったんですが、食品などの放射線量を測定するとき、セシウムの値だけが問題になりますよね。でも他にも放射性物質はあるわけで、そういったものは問題にならないのでしょうか。

本来これは問題にすべきなんです。なにせ国はそういうことを一切言わないですよ。ストロンチウムはベータ線なので、私たちが持っているような三百万円くらいの簡易測定機では測ることができないんですよ。

——ではもしかしたら含まれているのかもしれないけれども…

いえ、含まれています。たとえばセシウムの値が一〇ベクレル/kgあるとしたら、その他の核種も入れるならば、倍くらいの値になると考えたほうがよいようですね。

——そうした他の核種の含まれる割合というのはセシウムの量と比例するものなんですか？

だいたい比例するようで、セシウムの値からストロンチウムなどの割合もある程度は推測できるようです。本来は問題にすべきだし、今はほとんど外部被曝しか問題にしていることも問題で、内部被曝の方がその何倍も恐ろしいということは、広島・長崎やチェルノブイリの経験からわかっているにも関わらず公的な機関は認めていないですよ。チェルノブイリなどでは、百万人ほどの人に影響が出ていると言っている人もいます。

て、体内に入ると50~100日かけて大半は尿と一緒に排出されるが、筋肉組織に蓄積されるものがあり様々な病気の要因になる。

→心臓病、肝臓、腎臓の不調などを引き起こす

【ストロンチウム90】半減期：29.1年

●ベータ線を出しながらイットリウム90、ジルコニウム90に変化する。自然の中には存在せず、カルシウムと似た性質を持ち、体内に入ると一部は速やかに排出されるが、かなりの部分は骨に蓄積され長く残留する。またストロンチウム90から変異したイットリウム90はすい臓に蓄積される。

→白血病、糖尿病、すい臓ガン、脳の発達障害などを引き起こす

【プルトニウム239】半減期：2.41万年

●アルファ線を出してウラン235になる。地球上のほぼ全てが人工のもので、原子炉を運転した時にいくつかの同位体の混合物として生成される。人類史上最悪の毒物とも言われている。

このように、人工的な放射性物質は体内に蓄積されガンや遺伝的障害を引き起こすだけでなく、心臓病・脳梗塞・糖尿病・白内障・早期老化・免疫低下による様々な疾患（風邪を引きやすくなったり重症化したりする）を引き起こします。

私はこの1年、放射能の測定を通して様々なことを学ばせてもらいました。世界の裏の仕組み、その根源はお金による魂の支配であると思います。全てがお金、人の命よりも経済という価値観、それは人類にとって不幸以外の何者でもありません。その過ちに人類は気づくことができるのでしょうか！それは、ある意味放射能よりも怖いと感じています。（石井恵三）

——「影響」というのは具体的に？

I A E A の発表ではチェルノブイリ原発事故による死者は四千人とされていますが、一説には一九八六年から二〇〇四年までにおよそ百万人が亡くなったという調査結果もあります（※注2）。

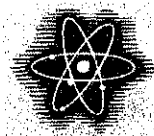
健康被害はガン
だけではない

——それはたとえばガンであるとか白血病であるとかによってですか？

放射能による健康被害と言えば、ガンということがよく言われるんですが、実は心筋梗塞や脳卒中が、ガンよりも早い段階から出るといわれているんですね。実際に私の周囲でも最近心筋梗塞が多いんですよ。これはどういうことかと言うと、活発に細胞分裂する器官の遺伝子が放射線で傷つけられるとガンになるんですが、あまり細胞分裂をしない器官

の遺伝子が傷つくと、うまく機能しなくなるか細胞死をおこすんです。

そして細胞分裂が遅いのでそのダメージをカバーする能力も低い。細胞分裂を活発に行わない三大臓器が脳・心臓・腎臓ということですから、低レベルの内部被曝でもそうした臓器に異常が起きると考えられているんです。神経と筋肉もほとんど細胞分裂をしません。チェルノブイリ原発事故による健康被害の実態調査で何度もウクライナを訪れている小若順一氏は、ウクライナでは非常に多くの子どもが足や頭の痛みを訴えているということを行っています。これについては、そういった再生しない細胞の遺伝子に内部被曝で傷が付き、ダメージが蓄積した結果だと結論づけていますね。こうした子どもたちが日常的に食べている食品を検査し、子どもたちが一日に摂取している食品の放射線量を推定してみると、キロ当たり五〜一〇ベクレルぐらいだろうと。だからそれくらいの値でもこのような健康被害が出ているということです。さらに放射性物質は食品からだけでなく呼吸でも体内に入り、内部被曝を起こし



放射能を正しく理解する
放射線物質の特徴とその影響

■放射線の種類 ～X線・ガンマ線・アルファ線・ベータ線～

放射線には「光」の性質を持ったX線・ガンマ線（電磁波）、「粒子」の性質を持ったアルファ線・ベータ線などがあります。アルファ線・ベータ線は、あまり透過性が無いため外部被曝の危険性は少ないと言われていたますが、体の中に入ってしまった場合はとても危険です。ガンマ線は透過性がありエネルギーも強いので外部被曝・内部被曝共に危険です。ちなみに内部被曝は外部被曝の5000倍の影響をもたらすとも言われています。

■放射性核種 ～ヨウ素・セシウム・ストロンチウム・プルトニウム～

原子力発電所の原子炉内でウラン235が核分裂した時に様々な放射性核種が生まれます。主な物にヨウ素131、セシウム134・137、ストロンチウム90、プルトニウム239などがあります。以下にそれぞれの特徴を記します。

【ヨウ素131】半減期：8.04日

●強いガンマ線・ベータ線を出しながら安定状態のキセノンに変化する。自然の中に放射性ヨウ素はほとんど存在しない。人工的に生成された放射性ヨウ素を、人体は体に必要なヨウ素と間違えて甲状腺に蓄積してしまう。ベータ線による甲状腺被曝が問題とされる。

→甲状腺にダメージを与え、ガンになる事もある

【セシウム134・137】半減期 Cs134：2.06年、Cs137：30.1年

●多くのガンマ線、ベータ線を出しながらバリウムに変化する。自然のセシウムは放射能を出さない。人工的に生成されたセシウムは人にとって大切な元素であるカリウムと似てい

ますからね。

——現在の福島空間線量はどんな
つていますか？

二〇一一年からすればかなり下がりました。でもうちの庭で〇・二五〇・三五μsv（マイクロシーベルト/時）くらい。これでもまだ低い方で、郡山辺りに行くと、いまだに一・〇を越すところがいっぱいあります。避難支援をやっておられる元東電第二原発に勤務されていた方が、郡山の中学生たちの着ている服の放射能を測定したところ五〇〇ベクレル近くあったそうです。彼らはいつもそれを身に付けて生活しているということですよ。

——先日三名の子どもから甲状腺ガンが発見されたという報道を見たんですが。

そうですね。ガンの疑いがあるという子供も入れると全部で十名。今、郡山、三春の子どもたちの甲状腺検査をしているのですが、二次検査が必要とされる子が二百人もいる

そうです。そんな中、原子力規制委員会が、この甲状腺ガン検査の途中打ち切りを検討しているとの情報もあります。何を規制するための委員会なのか、まったく理解に苦しみま

——事故直後から子どもの中に鼻血や体調不良などが見られるような報道もありましたが…

子どもだけではなく、大人でもあったようですね。僕の友人も二回くらい大量の鼻血を出したと言っていましたし。私も愛農に避難している時、五月の連休に一度福島に帰ったんです。その時にものすごく喉をやられて、風邪のような症状でまったく声がなくなりました。それでひどい思いをして帰ったら、村上真平さんも同じ時期に福島に帰っていたらしく同じ症状だったと。福島に帰ってきてからこちらに残っていた人にそんな話をしたら、あのころはみんなそんな症状が出ていたよと言っていたのでね、これはもう絶対に放射能だということ。

——そういう状況だと、現在でも子どもさんは避難させた方がいいなという感じはありますか？

先述のウクライナの場所は、空間線量で〇・二〜〇・五μsvというところですので、福島県で言うところ、中通り・浜通りはほとんど入るくらいは線量だと思います。ウクライナではその値は補償付き任意移住区域に入りますが、福島では避難区域ではないので、百万人くらいが今もそこに住んでいる状況ですね。

——みなさん危険だとは思いますが、仕方がないから住んでいるという方が多いのでしょうか。

結局いちばんは経済的な問題ですよ。東北全体に言えることですが、もともと福島県は裕福なところではないですからね。避難をすれば仕事を失うということもあるし、今回の事故で、東電なり国なりが行った補償というのは、本当に人をバカにしたようなものでしかありませんから。避難区域（三十キロ圏内）であれば月々の補償もあるようです

が、私のところは原発から三十七キロのところにありますから対象にはなりません。最初に大人一人につき八万円が、そのあと追加で四万円が支払われ、「これで終わりにします」ということで一方的に打ち切り

のような形です。仕事に対する補償も請求したんですが、圏外だからということでもまったく取り合ってくれません。東電の言い分では、避難指示も無いのに勝手に避難して仕事を失ったのだから補償しないという事です。でも、次々爆発する映像を見て、夜中、三〇キロ圏内の人たちが逃げ出す車でうちの前の県道は渋滞、アメリカ軍でさえ八〇キロ圏外に避難したのに、自主避難しない方がおかしいでしょう。

——訴える術はないんですか？

福島原発訴訟団というのができていて、うちも入っているんですが、検察が果たしてどう出るか。三月くらいに起訴をするかの判断を下すとは言っていますが、実際に家宅捜索もしていないし、起訴は無理だというような報道もされているような状況

況です。でも東電への請求はやっていきますよ。シツコイぐらい！

このまま行けば 福島県民は無駄死に

——先日石井さんから送っていただいた手づくりの冊子『放射能汚染の中で生き抜くために』を読むと、今

回の原発事故では直後の東電や国・福島県の対応のまずさ、情報隠しや明らかかなウソが被害を甚大にしたことが見てとれます。それ以前に、安全神話の下、反対意見を全て排除し、安全対策をなおざりにしてやみくもに原発を推進してきたというの

も大きな罪です。外部機関によってこれまでの原子力行政や事故原因を精査し、東電も国もとるべき責任を取ってエネルギー行政を大きく方向転換するのが当然の流れだと思えますが、そのような気配は自民党政権になってますます消え去りましたね。ウソや欺瞞で塗り固めてでも、なんとかしてこじつけて強硬に推進していくという姿勢です。この状況

で？と信じられない思いですが、現状を見れば見るほど希望がなくなるというか、じゃあどうしたら良いんだ私たちは……。

希望がなくなるし、調べれば調べほど腹が立つんですよね。たぶん原発を推進している人たちにとってはお金以外は見えていないんじゃないかなと思います。

——しかも自分のお金ですよ。原発は補助金まみれで導入され、恐ろしいリスクを背負って運転され、何十年の先まで廃棄物を管理していかなければならないわけで、そんなものは市場経済の原理に照らしてみたら成り立つわけがないシステムなわけですから。

まあでもね、確かにこの福島のが汚染されたことは事実なんですけれども、これはただ単に放射能で汚染されたということだけが問題というわけではなくて、経済にしろ何にしろ、日本のいろんなしくみが問われているんじゃないかなと思うんですよね。そういう根本的なところか

ら、とにかくいろんな意味で見直さなきゃいけない時に来ていて、福島事故はそのきっかけに過ぎないと思うんです。ただこれだけの災害が起こり、これはある意味、転換するためのチャンスだったはずなのに、それをうまく生かし切れないでいることにもどかしさを感じるというかね。そういう意味では、私は福島県の知事に対して非常に憤りを感じているんです。

—それはどういうことですか？

知事が福島県民の側に立っているんなことに対応し取り組んでいけば、福島県から日本が変わった可能性があったんです。そうすれば福島県民が被災したことも無駄にはならなかったとも思うんです。しかし実際にはそうはなりません。事故直後にはSPERDIの情報を隠し、多くの県民がしなくてよいはずの被曝をさせられました。県は国よりも先に空間線量を調査し、一号機水素爆発の六時間前に放射能汚染が始まっている事を知っていました。にも関わらずヨウ素剤の配布すらさ

れませんでした。県の放射線アドバイザー・除染アドバイザーに任命されたのは原子力ムラの二巨頭の山下俊一氏と田中俊一氏でした。三号機の爆発直後には知事から東電に「報道発表資料に『健康被害の心配はない』と記載して欲しい」と要請があったとの報道が先頃なされました。このように県は県民を見捨てているとしか考えられない状況で、そのようなかで県民は諦めの境地にいます。このまま行けば、福島県民百万人、これから無駄死にですよ。

放射能汚染を 生き抜くために

—希望はあるんでしょうか。

エネルギーのことにに関して言えば、日本に限らず、世界的にいろんな技術が研究されて実現可能なものとしてあると思うんです。そうした技術ができるだけ早く表に出してやりたい。そうすれば多くの人が、

こんなバカみたいな原発なんてやめようということになるんじゃないかと思うんです。

それから放射能汚染を生き抜くということでは、食事に気を付けることとでなるべく体内に入れる放射性物質を減らすこと。まずはさきほど言ったドイツの基準を目安にしつつ、なるべく汚染の低い地域の食材を選んで食べるようにすること。

—食品について実際に測定を続けられる中で、見えてきたことなどあれば教えていただけますか？

実際に測定をしてみても、玄米を白米にするとセシウムが六五%除去され、さらにそれを良く研いで水で洗い流すと九〇%が除去されたという結果が出ています。また放射性セシウムは水に溶けやすいので、野菜などはきれいに水洗いをするだけでも効果があります。それでもここに住んでいる以上はある程度の内部被

曝は免れないわけですから、食事や様々な方法によって免疫力を常に上げていくことが肝要だと思っています。原爆投下直後の長崎で、ご自身も被曝しながら医療活動を行っていた秋月辰一郎医師は、被曝した人た



昨年夏、新潟にて二週間の日程で行われた保養プログラムには十一名の子どもたちが参加した。非汚染地帯で保養することにより体内の放射性物質が排出されるのだそう、効果は大きいとのことだった。